



ペット同伴で訪れることができる観光施設や飲食店を紹介し、マップづくりなどを通してペット同伴の観光を促進する鳥取県ペットツーリズム協議会(矢嶋健二郎会長)。「ペットファーストな鳥取県に向けて一歩前進し、鳥取県が潤ってほしい」と活動する。県内には鳥取砂丘や東郷池周辺、大山など犬と一緒にウォーキングを楽しめる観光地があり、ペットツーリズムとの親和性が高いことから2022年4月、同協議会を設立。県の公民連携推進事業補助金を活用し、ペット同伴の観光客に満足してもらう仕組みづくりに取り組んでいる。

ペット同伴の観光促進

82 □

鳥取県ペットツーリズム協議会

ペット同伴で宿泊できる施設は近年、関東や近畿地方を中心に拡大。コロナ禍でペットを飼う人は増えたが、中国地方は受け入れ施設が少ない。矢嶋会長は10年以上前から、自身が経営する倉吉市内の旅館でペット同伴で宿泊できる部屋を提供してきた。「ヨーロッパなどではペットは家族の一員として認識され、大阪・関西万博にはペットも入園できる。県内はまだ主要観光地でもペットが入れるかどうかの表示も少ない」と指摘する。(矢嶋会長)



今年1月、矢嶋会長は1棟貸しで犬や猫などの小動物と宿泊できる施設を倉吉市内にオープンした。「赤ちゃんを連れたママたちが集まるイメージで、ペット同伴の人たちにパーティーなどで利用してほしい」と期待する。井戸垣昌延副会長も4～5月ごろ、同市内に宿泊施設やドッグカフェを開店する予定だ。矢嶋会長は「犬や猫がいたら旅行に行けないという昔の常識を変えたい」と意気込む。

ペット用シャワーやドッグラウンを併設し、全てリードフリーで使用できる宿泊施設